

那珂タイムリー



発行／日本共産党
那珂市議会議員

木村 静枝

『なんでも電話相談』(無料)

TEL/FAX 029-298-2064

住所：菅谷4494-1

政治革新の道しるべ
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん赤旗

日刊 ● 月 3,497 円

日曜版 ● 月 823 円

9月議会

消費税増税の 26年度決算に反対

『危ない』 マイナンバー制度

10月から、住民一人残らず番号を割り振るマイナンバー制度による番号通知が始まります。那珂市は、平成26年度決算で個人情報取扱い事務台帳整理事業に委託料として、568万円を支出しています。

マイナンバー制度は、6月初旬に起きた日本年金機構の大量年金情報流出事件などで、国民からは不信と不安の声が広がっています。

社会保障を解体し民営化を実行したのは、第1次安倍内閣でした。今回の情報漏れの背景には、民営化の際に年金実務に留められた公務員労働者を乱暴に解雇したことや、基幹業務を非正規労働者に大量に置き換えてきたことの弊害、人事体制の不備などが指摘されています。民営化と一緒に推進された外部委託拡大が、年金情報の保護管理にとって危険であることが明らかになっています。

木村静枝議員は 反対・中止を求める

1つの番号で国民の個人情報を照合させるマイナンバーは、情報漏えいや、悪用の危険を高めます。マイナンバーの中止を真剣に検討すべきです。

(関連記事裏面)

平成26年度の各種会計では、預金計画が8%に引き上げが盛り込まれています。消費税は低所得者ほど負担が重く、経済的弱者を踏みつけにする不公平税制であることは明らかです。

全国商工団体連合会の中小商工業研究所が行った2015年上期「労働動向調査」によると

「消費税を転嫁することができない」と答えた割合は、従業者数（事業主を除く）0人の小企業で53・3%，1～2人で52・7%と半数を超え、3～5人では41・9%でした。従業員数が少ないほど経営状態が悪化している企業の割合が高くなっているところです。

消費税増税と円安による原材料価格の高騰が打撃を与えています。4月～6月期は、消費や投資が低迷し、実質成長率はマイナスとなっています。格差は倍々開くばかりです。

「臨時福祉給付金」 受けられず

消費税の引き上げに際して、低所得者に対する配慮であるとして「臨時福祉給付金支給一人1万円」が予算化されています。しかし、対象者の184人に對して支給者は8052人であります。1132人が受けていないことになります。知らないかで申詰しに行けなかつたか、申請しなかつたか、

向うかの事情があつたのではないかと思いますが、不公平です。また、子育て世帯への「子育て世帯臨時特例給付金支給事業」では、臨時福祉給付金との併給は不可ということです。61人の児童は給付を受けられません。

平成27年度は併給することになりましたといふのですがこれも不公平です。

「焼け石に水のような小手先の対策でなく、消費税の引き上げはやめるべきだ。」と木村議員は反対しました。

消費税引き上げに反対

「焼け石に水のような小手先の対策でなく、消費税の引き上げはやめるべきだ。」と木村議員は反対しました。

国保税

一世帯2万円の 引き下げが可能

国保税は他の健康保険より高く、しかも、自営業や無職、年金暮らしの人が多くなっています。各自治体は、一般会計から繰り入れて国保税を安く抑えています。那珂市でも1億5500万円を繰り入れていますが、決算では、その全額を残しています。これを使えば国保世帯800世帯に2万円安くできます。ぜひ国保税引き下げに使うべきです。

一方、滞納世帯の取り立ては、年々厳しくなっています。保険証をもらえないために病院に行けず手遅れで亡くなる人も増えています。

木村議員は那珂市における6年生までの受け入れ計画について質しました。

木村議員は那珂市における6年生までの受け入れ計画について質しました。

那珂市の実態	
滞納世帯への差し押さえ	短期保険証世帯
預金 51 件	532 世帯
給与 2 件	資格証明書（保険証をもらえない） 95 世帯
不動産 1 件	

一般質問

小学6年生まで 学童保育の拡充を

講願

① 「青少年健全育成基本法制定を求める意見書提出に関する請願書」

この請願は、題名だけを読むと、青少年による法案のように思われますが、その中身は、我が国社会の発展に資する青少年育成を基本理念とし、子供の成長発達を子どもの権利ではなく、国家社会の発展に寄与するものとして位置づけています。

子供の成長発達権や最善の利益確保についての言及が一切ない

く、青少年の健全育成が「我が国社会の将来の発展にとって不可欠の基礎である」とされ、あたかも子どもの成長発達権よりも、国家の発展を優先するような内容になつてゐるので、木村静枝議員は反対しましたが、賛成多

者の利益のための安全かつ、確実な運用に関する意見書の採択を求める請願書」

木村静枝議員は、この請願には賛成しました。他のどの議員も賛成しましたが不採択でした。

保健福祉部長は「小学校の空き教室を活用できれば、早急に受け入れの拡大が可能と思うが、現状では余裕がない。特に山谷地区においては、施設の整備が必要だが、6年生まで受け入れが可能となるよう計画的な整備を進めていかたい」との趣旨の答弁がありました。

放課後、子供たちが安心して過ごせる施設として、児童館の建設を要望しました。

また、その間、図書館や本米崎小

児童館の建設を求める

児童館の建設を求める

議員は反対しましたが、賛成多數で採択されました。

学校を活用してはどうかと提案しました。

市長は「確かに駆け込み寺的なものを開設するというのは面白い発想だと思う。教育委員会の方で、検討していただくなれば、私としては、面白いと評価させていただきました」との答弁でした。

資料 [小中学生の不登校]

小中学生不登校12万人超え
小学生の割合過去最多に

学校基本調査(速報値)

2014年度に病気や経済的な理由以外で年間30日以上欠席した「不登校」の小中学生は、

前年度より約3300人多い12万2655人に上ることが、

6日文部科学省の学校基本調査で分かりました。これは、2年連続の増加で、小学生では全児童に占める割合が過去最多になりました。

不登校の児童・生徒数は2010年度の約13万9000人を最多に、08・12年度まで減少してきましたが、13年度から再び増加に転じました。

茨城県では、県と県教育委員会の2015年度の学校基本調査の県内分を公表しましたが、小学校の不登校児童生徒は、572人(0・37%)と、3年連続で増え、中学校の不登校生も238人(2・83%)と2年連続で増えました。

自治体職員を 非正規から正規職員へ

茨城県内44市町村の中で4番目に多い結果が出ています。(これは、茨城労連のアンケート調査で分かったものですが、非正規職員がら割を超えていたり)。

「正規職員から非正規職員への置き換えが官制ワーリングアートを生み出している」と茨城労連はコメントしています。この非正規職員が将来年金を貢献でしょか。貢えたとしても、それで生活をしていくのでしょうか大変心配です。

職員の削減は 住民サービスの 低下を招く

木村議員は「正規職員を減らすこととは、住民サービスの低下につながるので、職員数を増やすことはできないか」と質しました。

総務部長は「平成29年度」に483名の定数を目標に、毎年職員を削減している。現在484名であり、計画通りに進行している。国や県からの権限移譲により、業務量が増える中で、非常に厳しいことは事実ですが、その一方で、市の財政状況を考えると定員削減の目標達成は必須と考えている」と苦しい答弁でした。

正規の保育士を増やし 子育てに責任を

木間に任せたり、幼稚園の統

ふきだ」との答弁でした。
民間に任せたり、幼稚園の統
廃止で全体の職員のバランスとい
うことですが、本質的な解決
にはなりません。子育てにあま
りにも無責任と叫ばれる見えま
せん。

次に、「隣居保育士の非正規職
員が多いが、専門職としては問
題ではないか」との質問には、「保育所については、正規職員
が少ないことは認識してます。

昨年度については、2名の正
職員を増員し、今年度について
も、2名の正職員を増やしていく
必要があります。しかし、全部入れる
わけにはいかない。一生懸命頑
張って試験を受けてほし
い」との答弁でした。

木村議員は、市長に「子育て
をめぐらしくおこなっているのか」
と質しました。市長は「みんな
入りたい。しかし、全部入れる
わけにはいかない。一生懸命頑
張って試験を受けてほし
い」との答弁でした。木村議員は、市長に「子育て
をめぐらしくおこなっているのか」
と質しました。市長は「みんな
入りたい。しかし、全部入れる
わけにはいかない。一生懸命頑
張って試験を受けてほし
い」との答弁でした。

おはよう 一コマ一問答

マイナンバー制度 始まつたけど

「おはよう」との答弁でした。
民間に任せたり、幼稚園の統
廃止で全体の職員のバランスとい
うことですが、本質的な解決
にはなりません。子育てにあま
りにも無責任と叫ばれる見えま
せん。

晴男 全国で何百万も届かな
ない世帯が出たら1円からの利用
開始に向けた前提自体があやし
くなっています。

のほる 自治体も民間も番号
制度だよ。

晴男 僕もだ。日本に住民票
をもつ一人ひとりに政府が12
桁の番号を付けて税務署や福祉
の窓口などさまざまな機関がも
つ個人情報を唯一の番号に結び
付けて活用し、負担強化や給付
抑制に使おうというものだ。

のほる なんか不安なんだよ
な。

晴男 やはり。

のほる 10円5日から始ま
ったマイナンバー(共通番号)

制度だよ。

のほる その国の発想 자체が
不気味で拒否したいくらいだよ。
個人情報が簡単に集められるよ
うになつたら、国による収取強
化などがひどくなり、サイバー
攻撃、漏えいの心配だって増え
るだろう。

のほる メリットもない
のほる メリットもないし、
危険すぎるよ。送られてくる通
知カードと一緒に顔写真付き個
人番号カードの交付申請書が付
いてくるらしいけど、僕は申し
込むつもりはない。

晴男 そうだな。実際、のほ
るみたいに、最近の世論調査(「
NNN」)でも、この制度に「不安
だ」が79%、国による管理を「信
頼しない」が77%にも上がつて
いる。

のほる だけど、番号の通知
は嫌でもさりやうんでしょ。

晴男 任意だから、それがい
いんじゃないか。
(赤旗新聞より抜粋)